

和・WA・〇通信



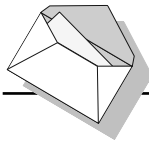
一般社団法人なごみの里
〒683-0033 鳥取県米子市長砂町 628-1

TEL/FAX 0859-38-4321

E-mail staff@nagominosato.org

<http://nagominosato.org>

twitter @ShibataKumiko / @NagomiOrg



感謝を込めて

代表 柴田久美子

子供みこしを待つ家門で御ひねりを渡すとみんなでお辞儀、手を合わせる笑顔が美しい秋です。

こんな時、この国に生まれて良かったと感動します。この子供達に私は何を手渡すこと出来るでしょう。私に出来る事は死の文化を暮らしの中に作り上げ、それを手渡す事と志を立てて活動しています。

「父は時間が無いことを知りながら、死ぬのが怖いと。私達も話す事が出来なくて、父の本当の想いが聞けなくて、辛いのです」こんなご相談を受け看取り士として、ご家族の悲しみを引き受けて、光に代える役割を担わせて頂いています。その為に、いつもプラスだけで生きていく事に努めています。まだまだ未熟な私がこうして活動を続ける事が出来ますのも皆様のおかげと日々感謝しております。

支援者様 有難うございます。

幸齢者様 有難うございます。

感謝 合掌

イベント情報

- 10/19 ニから連携の会（兵庫県） 10/20 甲南大学 ICI 想像文化研究組織（兵庫県）
10/22 特別養護老人ホーム しかまの里（兵庫県）
10/27 できる思考リーダー委員会（島根県大田市） 11/4 福島講演会（福島県いわき市）
11/8 鹿児島県介護福祉士会（鹿児島県） 11/9 日置市立住吉小学校（鹿児島県）
11/9 日置市講演会（鹿児島県） 11/15 日南町社会福祉協議会（鳥取県日南町）
11/18 (有) ケアステーションせたな（北海道） 12/14 吉備国際大学短期大学部（岡山）
12/17 岡山県高等学校教育研究会福祉部会（岡山県）
12/19 北見 小学校（北海道北見市） 12/22 札幌講演会（北海道札幌市）

和・WA・〇通信とは、なごみの里に関わる一人一人の方々を尊重し、調和しながら歩みたいと願うスタッフの想いです。
和・WA・〇通信を発送するため、発送用の切手や封筒をご支援頂ければ幸いです。

エンゼル通信 -暮らしの輪を全国へ-

看取りボランティア“エンゼル活動”を始めて2年半…皆様のおかげで登録員数も220名を超え、全国へ活動の輪が広がっております。

地域の方たちと一緒に交代でそばに寄り添って、手を握ったり身体をさすったりと、見守りボランティア活動です。

地元 米子高等学校 米子南高等学校の生徒さんもボランティア活動へ加わって下さっております。



エンゼルキャンペーン実施中！！

期間：平成24年10月1日～10月31日

特典：この期間にご登録いただいた方、ご紹介して下さった方には、
もれなくプレゼント!!

プレゼントは届いてからのお楽しみ！

一人でも多くの方にこの活動を伝え、幸せな最期を迎えられる国づくりをしましょう。

☆エンゼルチームは、年齢・住所・肩書問わず、誰でも無料で入会できます。

登録はなごみの里へ御連絡下さい。

【登録するとどうなるの？】

- ・エンゼル協力員のお住まいの地域でエンゼル利用者様がおられた場合、御連絡させていただきます。幸齢者様の見守りが必要な時間に、見守りボランティアを行います。



第3期 4期 看取り士養成講座 開催中

現在、第3期 4期看取り士養成講座へ、2名の研修生さんがご参加下さっております。

☆全ての人々が旅立つ時、「ああ私の人生は、素晴らしいものであった」と思える社会を目指します。必ず、そんな日が来ることを信じて、日々学び感じとっていきたく思います。学びの場に感謝します。
(須藤 和美)

☆人生の最期をその人らしく美しく輝く時間にしたい。もっと看取りや死をきちんと受けとめられる文化を広めたいという想いを抱き、学ばせて頂いております。
米子にきてまだ10日程ですが、日々大山を眺め鳥取が大好きになりました。(神田 具子)



第5期 看取り士養成講座 日程

平成25年4月21日(日)～10月8日(土)

柴田久美子の死生学

上野千鶴子先生推薦！

あなたは、“死”に対してどんな考えをお持ちでしょうか。

要介護の親族を抱えている方、またはこれから抱える方。「やさしさ」「笑顔」とは？介護ではなく、看取りを学んでいきませんか。最期に悔いを残さないために「希望をもつこと」「命のバトンを受けとること」を一緒に学びましょう。

なごみの里にて好評につき、NHK文化センター米子教室にて、10月より第4金曜日に講義をさせて頂けることとなりました！シダックスカルチャークラブ(第4水曜日)でも行います。

《死生学を受けて》

☆子や孫へ魂のエネルギーを残すために、人生に前向きに生きなければならない事を学びました。何のために生まれてきたのか？仕事をする時にも、相手の気持ちになって考えることで本当の仕事ができると感じました。
(30代 男性 サービス業)

柴田流胎内体験内観

～究極のリラクゼーション 新感覚の体験～

内観とは、母親または父親を対象に、相手の立場に立って振り返るワークです。

誰もが皆、母親の胎内で慈愛を受けてこの世に生まれます。柴田流内観では胎内にいた安心感を体験し、自らの内にある愛に気付いていただきます。そうして自分の心が愛で満たされた時、人ははじめて他人を愛することができるようになります。

サービス業における会社の研修としても開催中！！

《感想》

☆胎内体験を経験し、ずっと悩んできた母とのことが解決できました。

認知症の母は私の事も分からない状態ですが、「お母さん」「ありがとう」「大好き」「生んでくれてありがとう」という言葉に反応をし、一瞬でしたが、母と娘に帰れました。
(40代 女性)



《内観後の決意》

- ・父の最期を看取ります
- ・お客様にスタッフ従業員の皆様に厳しく、やさしく接します。
(50代 男性)

今後の胎内体験内観日程

☆一日胎内体験内観

10月14日(日) 10:00~16:00 場所：なごみの里

8名以上参加者おられましたら、お住まいの地域でも開催可能です。

11月3日(土)は、好評につき東京にて第2回目開催決定！！

12月23日(日)札幌にて開催予定！

より深めたい方には、宿泊コースもあります。

☆1泊2日コース 母親を対象により深めることで、慈愛を感じることができます。

☆1週間コース 父親も対象に行い、より心を磨きたい方には必見です。

支援者様バトンリレー

vol. 19

(VOL. 18の支援者様 一般社団法人ふるびら和み 代表理事 本間利和子様)
なごみの里の支援者様に、和・WA・O通信に色を添えていただこうと思い、企画いたしました。
今回は、西浄寺 住職 釈 秀静 様よりお言葉を頂きました。



私の「なごみの里」との縁といいますか、出遇いは、2005年。当時、地元（京都府・丹後）の特養に勤めながら、神戸の緩和ケア病棟に月二回の傾聴ボランティアに行っていた頃、あさる様に、「何かよい本は」と、新聞の本紹介欄に目をやっていた。

「死なないで下さい」という本の紹介が、ある日、目に止まった。まあ、本題にしては、そのままやなあ。「そりゃあ、そうやわな。とりあえず、本、読んでみるか。」こう、思ったことが、 妙 だったと、今は思う。

どのように取り寄せたかは覚えていない。ただ、この本に出てくる著者の姪にあたる、まだ、若き女性のいのちの声というのか、イラスト・写真から不思議なメッセージを感じたことを今も覚えている。柴田さんの著書の中で私はこれが一番好きだ。

さて、本を読んだ私は、この著者の柴田久美子さんのなさっておられることに、「んーん？・んん??」「そんな人ね、おるん?」「どれどれ、ちょっと行って、ほんまなら、そら、えらいこっちゃ」。まあ、はなから疑ってる訳で。

「ボランティアに行きたいんですけど?」

「見学は、土曜か日曜。ボランティアは一ヶ月以上です。」

「講演会って関西では?ないですか。」

「関西はないですね。一番近くは、10月に松江であります」。電話でのやり取り。

「抱きしめておくりたい…。」この言葉が、柴田さんの講演で聞いた、柴田さんの第一声。今もこの「抱きしめておくりたい」という言葉は、柴田さんの全てではと私は思っている。島根県・隠岐・知夫島薄毛。ここが、柴田さんが「なごみの里」を立ち上げた地。風見鶏が回っている、小さな村の集会所を改増築したその家に、四人の幸齢者様が、若いスタッフと静かに静かに暮らしを、暮らしておられた。今思えば、ドカドカッと土足で入っていった自分を思い出す。それでも、柴田さんは、「やさしく・やさしく・やさしく」と言われるだけ。

なごみの里にはあしかけ5年近く係わった。私は、能力もない。実力もない。行動力もない。それなのにプライドだけはどういう訳だか人一倍。そんな私がだだひとつ、「抱きしめておくりたい」「生まれた時、抱きしめてもらったその人を、抱きしめておくりたい」と、この言葉には、ただ、ただ、参った!

私は今、坊主を生きている。そして、「なごみの里のこころ」を、今の立ち位置で実践中。柴田さんの、「日本津々浦々まで伝えたい」という想いにお役に立てないけれど、「支援者」と言える日を目指し、私もまた、「死の文化」「禮の文化」を作っていこうと。なごみの里は、「ありがとう・ありがとう・ありがとう」がどこかで、誰かかかならず言っている。

それもまた、「幸齢者さまからの、いのちの言葉」。四人の幸齢者様の顔・声・しぐさが今も思い浮かぶ。ありがとうございます。

なごみの里は全国各地の支援者様の支援によって支えられています。

全ての皆様の尊い真心に感謝いたします。

釈 秀静
2023.10.15

死なないでください

白血病で亡くなった著者の姪の作品とともに、命の尊さ、特に最近多い若者の自殺にたいして、自らの半生を振り返りながら「死なないで」の思いが綴られています。



柴田久美子・アートヴィレッジ	定価 1,260円	注文冊数
発行日:2006.7.23 頁数:218頁		冊

ふりがな お名前		お電話番号	
御住所	〒		

※ 代金は書籍に同封の郵便振替用紙にてお支払い下さい。
※ FAX 0859-38-4321 / メール staff@nagominosato.org まで御注文下さい。